



まちづくりに関心ありますか？



在学中に地方公務員

「地域おこし協力隊」として働いてみる

1. 地域おこし協力隊とは

都市部の人たちが、1～3年間、過疎化の進む地域に住み、「協力隊員」＝公務員としてまちおこしに取り組む制度です。

2. 鹿児島県いちき串木野市で

地球市民学部は、鹿児島県いちき串木野市と協定を結び、在学中に地域おこし協力隊として学生を派遣することにしました。



3. 4年生は1年間の正式派遣

3年生は1か月間のインターン（活動費が支給されます）、4年生は1年間、正式な協力隊員として派遣されます（報酬と活動費が支給されます）。

4. 広報の仕事をまかされます

担当するのは、まちの広報の仕事です。市民を取材して広報誌をつくったり、観光のPRをしたりします。若者の目線が期待されています。



5. 市の職員のパートナーとして

市の職員から、丁寧な指導や支援が受けられます。一方で、社会人として、また、パートナーとして、仕事の成果が求められます。



6. しっかり研修して現場へ

現場の公務員の仕事をこなすためには、トレーニングが必要です。派遣を希望する学生は、1年次から研修を受けます。

7. 研修に参加するには選考も

研修に参加する際にも、選考があります。志望動機、研修への意欲、まちづくりへの関心などが選考のポイントです。

8. 入試で「派遣優遇枠」獲得を

入試で「派遣優遇枠」を獲得した人は、選考なしで研修に参加できます。派遣の選考でも加点されます。総合型選抜10月2期入試が対象です。



9. 先輩が活躍しています

鹿児島県いちき串木野市では、卒業生が、地域おこし協力隊として活躍しました。今はデザイン会社を起こし、市の仕事をまかされています。

10. 唯一無二のキャリアを

在学中に、公務員としてのキャリアを積める大学は、ほかにないと思います。ぜひ、このチャンスを使ってみてください。